



## 【第138号 目次】

- ・教育コラム「磨」
- ・まなnetの玉手箱
- ・講座案内
- ・お知らせ
- ・速報



# 磨

## 特別支援教育担当における専門研修の取組

### 特別支援教育担当

高知県教育センター特別支援教育担当では、「インクルーシブ教育システム構築を目指して、発達障害等のある幼児児童生徒に対し、障害特性等を理解して指導・支援ができるよう、教職員の専門性の向上を図る」ことを目的に、専門研修を実施しています。今回は、保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校教職員、特別支援教育支援員等といった、全ての校種を対象とした、「特別支援教育セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」について取り上げます。

このセミナーは、受講者ができるだけ受講しやすいよう夏期休業中に実施しています。本年度は、4名の講師をお迎えしました。それぞれの研修内容をご紹介します。

### 特別支援教育セミナーⅠ 令和4年7月21日(木) (110名参加)

#### 「検査結果から見える子どもへの指導・支援」～実践へ生かす業(ワザ)～

適切な評価に基づく子どもの見取り方や解釈の仕方等を学び、実際の指導・支援に活かすことができるよう指導力の向上を図ることを目的に、日本臨床発達心理士会・茨城支部長 大六一志先生にご講演いただきました。講義では、WISC 知能検査の概要及び構成、検査結果の数値の見方、解釈と支援を結び付けるためにどのような視点が必要かを学びました。

実際に具体的な検査結果の数値を見ながら、子どものどの部分に困難さがあるのか、そうした場合の効果的な指導・支援とはどのようなものか、様々な事例を通して学ぶことができました。

また、後半の講義においては、演習を通して、検査結果を子どもへの指導・支援の実践に生かすことのできる内容を具体的に学び、2学期からの取組にすぐに役立つ内容が満載でした。

### 特別支援教育セミナーⅡ 令和4年8月22日(月) (78名参加)

#### 「明日からの学びへ導く学級経営」～教室の先へ続く学級づくり～

集団を育てるための学級経営についての理解を図り、特別支援教育の視点から授業づくりを考え、実際の指導・支援に生かすことのできる実践的指導力を身に付けることを目的に、桃山学院教育大学 松久真美教授にご講演いただきました。

午前の講義は、授業におけるユニバーサルデザインの在り方について、具体的な教材などを紹介していただきながら学ぶことができました。

午後の講義では、ソーシャルスキルをキーワードに、問題行動、いじめ、不登校の背景を考えながら、どのような支援が有効かを具体的にお聞きすることができました。受講者は、自分が関わっている子どもの姿と重ねながら聴講することができたようです。2学期からの実践にすぐに生かせる内容でした。



### 「プログラミング教育にチャレンジ！」～知的障害のある子どもの論理的思考力とは～

午前は、知的障害、発達障害のある子どもたちのプログラミング教育についての理解を深め、実践事例から論理的思考力について考えることを目的に、帝京大学 水内豊和准教授にご講演いただきました。

特別支援教育における ICT の活用や特別支援教育とプログラミング教育の関係について、丁寧に教えていただきました。また、これからの ICT との付き合い方、活かし方について具体的に教えていただき、ICT 活用につながる大変貴重なお話をお聞きすることができました。

まさに今、学びたい内容で受講者の課題意識にそった研修となりました。

### 「みんなと一緒に学ぶインクルーシブ」～授業に参加している充実感を！～

午後は、すべての子どもたちが安心して過ごせるための校内支援体制の在り方を学び、実際の指導・支援に生かすことのできる専門的指導力の向上を図ることを目的に、高知大学教職大学院 是永かな子教授にご講演いただきました。

インクルーシブ教育システムがどのようなものであるのか、合理的配慮、連続性のある「多様な学びの場」などととも基本的なことを理解し、校内支援体制の在り方について考えることができました。様々な事例を通して、子どもたちが安心して過ごすための校内支援体制の構築に向けて、特別支援教育をいかに活用するかを再認識できる講義内容でした。



## まな net の玉手箱

### 子供に寄り添う

本部教科研究センター 指導アドバイザー 吉田美紀

「大きな数の学習資料の拡大印刷をお願いします。」と教科研究センターに依頼があるたびに、1年生と4年生の複式学級の担任をしていた時の算数の授業を思い出します。4年生の二人に大きな数の学習で「9500 から 50 ずつ増える数をノートに書きましょう。」と指示を出し、1年生の指導にあたっていると、「先生、1 ページに書けました。」と彼らがノートを持ってきました。ノートには予想外の数が並んでいました。夏休みに、数が増えることの規則性が分かっていない彼らに、2年生から4年生の教科書を使い、「数のしくみ」に重点を置いて丁寧に復習をしました。学年当初は「算数が苦手!」と言っていた二人でしたが、2学期以降はこの言葉を聞くことはなく、学習を進めることができました。

放課後の学習支援での経験です。6年生のAさんが、机の下で指を使って計算をしていました。「僕は、ひき算が苦手です。」というAさんに、しばらくはブロックを使いながら指導を重ねました。それから4年後、Aさんから「放課後に学習室で関わってもらったことでやる気が出て、おかげで希望の高校への入学が決まりました。」というお便りが届き、嬉しく思いました。

3年生が計算問題に取り組んだとき、問題数は少ないのに、子供たちはなかなか100点が取れませんでした。子供の間違いから原因を探りました。

### 【 指導の留意点 】

- ① 位をそろえて書いているか。
- ② 一の位から計算しているか。
- ③ 繰り下がりはできているか。  
(あれ? 8から5を引いている。2年生で「5から8は引けないので、十の位から1繰り下げて15から8を引く。」と学習したはずなのに…。)
- ④ 15から8を引いたとき7になっているか。

### 《 子供のノート 》

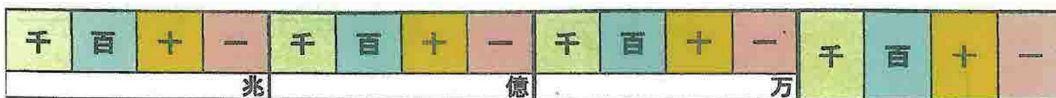
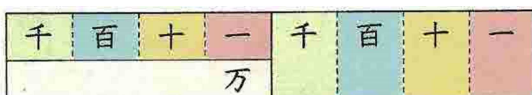
$$\begin{array}{r} 375 \\ -168 \\ \hline 3 \end{array}$$



どこで間違っているのかに気づかせることで、次からは慎重に計算するようになりました。どの子供も「分かったい!」、「できるようになりたい!」、「100点を取りたい!」と思っています。

ここで挙げた例は、主に低学年の内容でのつまずきです。早期につまずきを発見し、効果的に練習を繰り返しながら、学習内容を定着させることは教員の仕事です。例えば、大きな数の学習で、二千五百十を数字で表したときに、間違っ  
て「200050010」と書いてしまう子供がいます。大きな数を正しく書くために、教科研究センターには、次のような教材  
があります。

「大きな数」の教材例



### 【 活用例 】

- ① 位のマスがノートのマス目 (1 cm) になるように印刷する。
- ② ラミネートをかけ、児童一人一人に1本ずつ配る。
- ③ 大きな数を正しく書くために、それぞれの位の数を正しい位のマスに書く。  
(各位のマスには0~9までの数一つしか入らないことを確認しておくこと。)
- ④ 兆・億・万などを読むときは、四つの位のまとまりごとに数を読む。



教科研究センターでは、先生方のご希望の教材を作成したり、授業についての相談に応えたりすることで、子供と先生の願いがかなうようお手伝いしたいと考えています。どうぞお気軽にご来室ください。



《 教育センターの四季：  
気の毒な名前のヘクソカズラ 》

## 講座案内

あなたも教科研究センター講座に参加してみませんか？

### 令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅰ「郷土資料の活用Ⅰ」

- 1 期 日 令和4年10月15日(土) 13:30~16:00 (受付 13:15~13:30)
- 2 会 場 高知県立高知城歴史博物館 1階ホール 高知市追手筋2丁目7番5号
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 土佐藩の参勤交代

今回の講座では、土佐藩の参勤交代についてご紹介します。学校の歴史の授業で必ず取り上げられるテーマであり、また県内各地の地域学習を進めるうえでも魅力的なテーマの一つと思われます。

そこで今回は、土佐藩の参勤交代について、経路や日数・人数・費用などの基本的な事項をはじめ、参勤交代をめぐる幕府との関係、あるいは道中での事件やできごとなどをご紹介します。土佐藩の大名行列の様子を描いたとされる絵巻の紹介など、授業作りの参考となる各種資料もご紹介します。

※講座終了後、希望される方は展示室をご見学いただけます。

- 5 講 師 高知県立高知城歴史博物館 副館長 横山 和弘
- 6 申 込 10月6日(木) 16:30 締切

### 令和4年度教科研究センター講座 基礎講座Ⅱ「授業づくりで大切にしたいことⅠ」

- 1 期 日 令和4年10月22日(土) 10:00~12:30 (受付 9:45~10:00)
- 2 会 場 高知県教育センター 3階大研修室(高知市大津乙181)
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 「授業づくりで大切にしたいことⅠ」

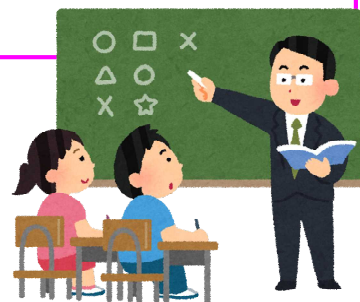
#### 講義 「教材研究」「板書の基礎・基本」

「教材研究って何?」「教材研究のポイントは?」など教材研究の仕方と板書の基礎・基本を学びます。

#### 演習 「板書計画の演習」「グループによる意見交換」

グループで道徳(予定)の資料をもとに板書計画をたてる演習を行います。演習後の協議では、グループで作成した板書計画を見合いながら意見交換をします。

- 5 申 込 10月12日(水) 16:30 締切



## 令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅱ「協調学習の授業づくりに関する講座」

- 1 期 日 令和4年11月19日(土) 9:30~12:00 (受付 9:15~9:30)
- 2 会 場 高知県教育センター 3階第33、34研修室 高知市大津乙181
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 「知識構成型ジグソー法」を活用した協調学習の授業づくり

「協調学習」とは、「一人ひとりが主体となって答えを作り、対話を通じて自分の考えを見直したり、広げたりしながら、よりよい答えを作るような学び一般のこと」です。その学びを実現するための一つの手法が「知識構成型ジグソー法」です。本講座では、知識構成型ジグソー法の講義・演習を通して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる授業づくりについて考えていきます。教科の見方・考え方を働かせながら、生徒の資質・能力を育成するポイント等について、参加者の皆さんが校種や教科を越えて学び合えるような講座を実施します。

- 5 講 師 高知県教育センター 指導主事 大菊 賢
- 6 申 込 11月8日(火) 16:30 締切



## 令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅲ「中・高の英語の授業づくり実践講座」

- 1 期 日 令和4年11月19日(土) 13:30~16:00 (受付 13:15~13:30)
- 2 会 場 高知県教育センター 3階第33、34研修室 高知市大津乙181
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 主体的に英語で「理解する・表現する・伝え合う」授業づくり

本講座では、英語における「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりについて、「目標と指導と評価の一体化」の視点で、受講者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。どうぞ、お気軽にご参加ください。

- 5 講 師 高知県教育センター 指導主事 濱田 真美
- 6 申 込 11月8日(火) 16:30 締切



## 令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅳ「郷土資料の活用Ⅱ」

- 1 期 日 令和4年11月26日(土) 13:30~16:00 (受付 13:15~13:30)
- 2 会 場 高知県立高知城歴史博物館 1階実習室 高知市追手筋2丁目7番5号
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 山内容堂と幕末維新史

今回の講座では、15代土佐藩主山内容堂(豊信)についてご紹介します。容堂は外様大名でありながら、嘉永6年のペリー来航以降、幕府・朝廷を中心とする中央政局で活躍した人物です。慶応3年に15代将軍徳川慶喜に大政奉還を建白し、江戸幕府を終焉に導いた人物であり、幕末史の重要人物として高校日本史の教科書にも登場します。今回は開催中の企画展にあわせ、山内容堂の生涯と彼の関与した中央政治について、「安政の大獄」「公武合体」「大政奉還」「王政復古」のポイントについて解説します。  
※講座終了後、希望される方は展示室をご見学いただけます。

- 5 講 師 高知県立高知城歴史博物館 資料学芸課長 藤田 雅子
- 6 申 込 11月16日(水) 16:30 締切

### お知らせ

## 気象状況による教科研究センターの閉室について

教科研究センターの所在する地域に、大雨特別警報、暴風特別警報、暴風警報が発令されている場合は、その日を閉室します。

また、台風の接近等が予想される場合には、警報発令前でも、閉室する場合があります。

この場合は、教科研究センターのホームページに掲載しますので、ご確認ください。



### 教具の貸出しについて

教科研究センターでは、アーテックロボ、コード・A・ピラー(本部のみ)やボッチャの貸出しを行っています。詳しくは、各教科研究センターにお問い合わせください。



### 速報



教科研究センター(本部・東部・中部・西部)

令和4年8月の利用者状況 **288名**

◆◇ご利用ありがとうございました◆◇



|              |                           |                      |
|--------------|---------------------------|----------------------|
| 教科研究センター(本部) | 高知県教育センター2階(高知市大津乙181)    | TEL/FAX 088-866-3903 |
| 東部教科研究センター   | 安芸総合庁舎4階(安芸市矢ノ丸1-4-36)    | TEL/FAX 0887-34-8051 |
| 中部教科研究センター   | 中部教育事務所1階(吾川郡いの町枝川2410-7) | TEL/FAX 088-893-6597 |
| 西部教科研究センター   | 幡多総合庁舎3階(四万十市中村山手通19)     | TEL/FAX 0880-35-6251 |

教科研究センターホームページアドレス <https://www.kochinet.ed.jp/studycenter>